

国家一般職の教養区分

✓ 教養区分（新設）

【試験内容】

- 基礎能力（教養）試験
- **課題対応能力試験**
- 一般教養論文試験
- 人物試験

専門試験がない

✓ 通常の試験区分

【試験内容】

- 基礎能力（教養）試験
- **専門択一試験**
- 一般論文試験
- 人物試験

専門試験がある

国家一般職の教養区分のポイント

✓ **大学3年生**から受験できる

※大学3年生は、翌年の官庁訪問に参加。

✓ 合格者名簿の有効期間は**6年間**

✓ **一次試験日**は従来型の区分と**同じ**

※専門ありの現行の試験区分と併願はできない

国家一般職の教養区分のポイント

- 2025年より国家一般職試験「**教養区分**」（専門科目が無い）が導入されます。これによって、大学3年生の5～6月に受験することができます。

✓ **大学3年生**にとってのメリット

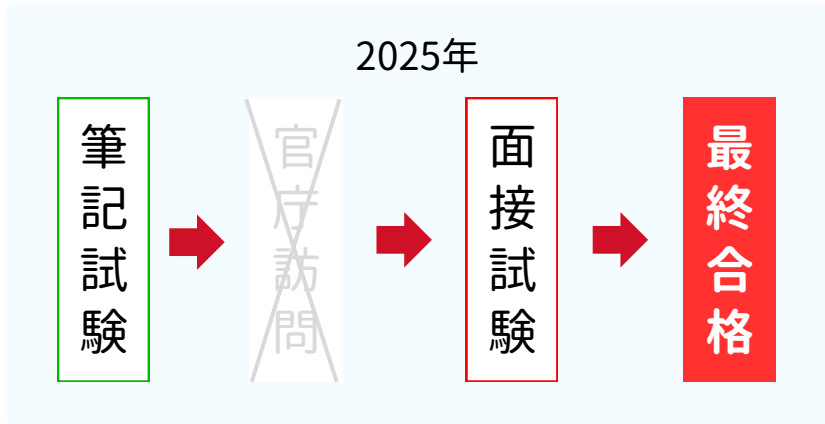
大学3年生でも、専門科目がない試験を受験できるため、民間と公務員を迷っている学生など、**チャレンジ的に受験**することができます。合格すると、その後の受験対策が不要となるため、充実した学生生活に充てたり、大学4年生の6月にある官庁訪問（採用面接）対策をすることができます。不合格となっても、大学4年生で再度受験できるため、特にデメリットとなることはありません。

✓ **大学4年生**にとってのメリット

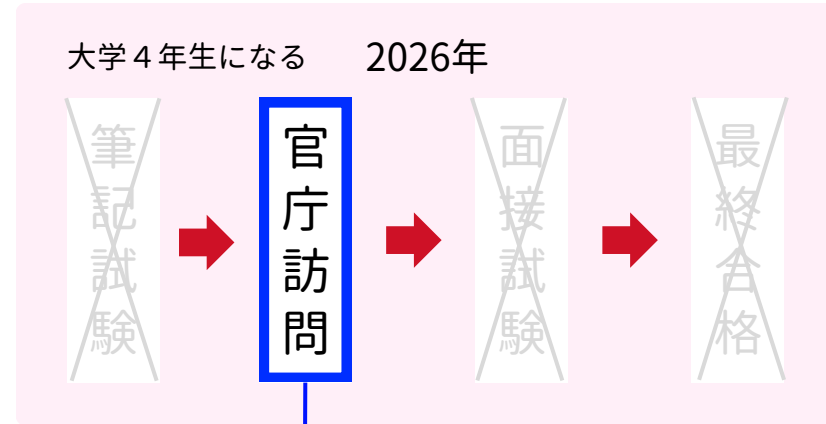
大学4年生で民間企業に内定を受けた後に、専門科目がない試験を受験できます。前述のように、合格有効期間が6年間ありますので、試験に合格しておくことで、民間就職をした後でも、有効期間内に（官庁訪問）採用面接だけを受けて、国家公務員に転職することができます。

教養区分の流れ

✓ 大学3年生

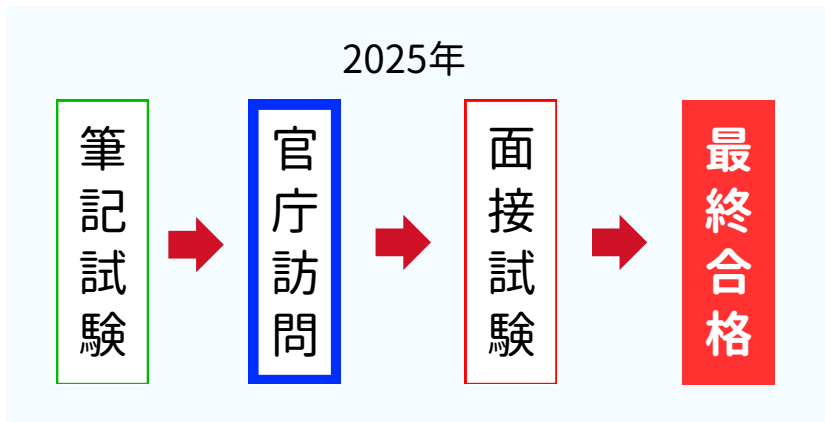


2026年は「**官庁訪問**」のみ

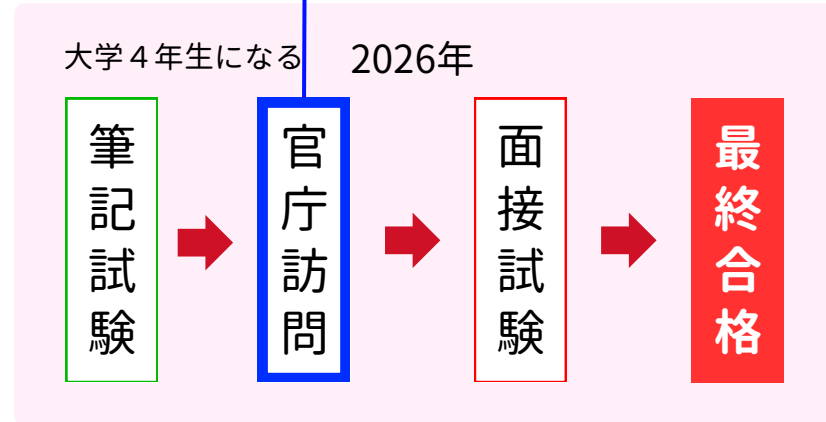


2027年
4月
就職

✓ 大学4年生



2026年
4月
就職



2027年
4月
就職

— 合格 —>

不合格

同じタイミング

2025年に不合格だった場合は2026年にもう一度、チャレンジできる